

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2学年	2単位	選択
担当教員			
◎大久保明子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】 【氏名】 ◎大久保 明子	【所属】 新潟県立看護大学	【研究室】 207	【メールアドレス】 ohkubo@niigata-cn.ac.jp
	【本学の科目区分】 専門分野			
	【D P 1】 ◎	【D P 2】 ◎	【D P 3】	【D P 4】
			【D P 5】	【D P 6】

到達目標	1. 小児看護の実践に必要な小児期の発達の特徴が説明できる。 2. 発達心理学の小児看護実践への活用方法について考察し、説明できる。	
授業概要	「ベーシック発達心理学」のテキストに沿って、小児期の発達の特徴、および発達心理学の小児看護実践への活用方法について、プレゼンテーションと討論により、理解を深める。	
授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：ガイダンス 学修内容：・小児看護において発達心理学を学ぶ意義 ・学習の進め方 備考： 大久保
	2	授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討議 学修課題：発達のとらえ方 学修内容：遺伝と環境・生涯発達の視点
	3	備考： 大久保 授業内容 授業形態：プレゼンテーション・ 討議 学修課題：乳幼児期の発達1 学修内容：胎児期・周産期の発達とケアへの活用 備考： 大久保
	4	授業内容 授業形態：プレゼンテーション・ 討議 学修課題：乳幼児期の発達2 学修内容：感覚・運動の発達とケアへの活用 備考： 大久保
	5	授業内容 授業形態：プレゼンテーション・ 討議 学修課題：乳幼児期の発達3 学修内容：愛着の発達とケアへの活用 備考： 大久保
	6	授業内容 授業形態：プレゼンテーション・ 討議 学修課題：乳幼児期の発達4 学修内容：自己と感情の発達とケアへの活用 備考： 大久保
	7	授業内容 授業形態：プレゼンテーション・ 討議 学修課題：乳幼児期の発達5 学修内容：認知の発達とケアへの活用方法 備考： 大久保
	8	授業内容 授業形態：プレゼンテーション・ 討議 学修課題：乳幼児期の発達6 学修内容：言語の発達とケアへの活用 備考： 大久保

	9	授業内容 授業形態 : プレゼンテーション・ 討議 学修課題 : 乳幼児期の発達7 学修内容 : 社会性の発達とケアへの活用 備考 : 大久保
	10	授業内容 授業形態 : プレゼンテーション・ 討議 学修課題 : 乳幼児期の発達8 学修内容 : 遊び・仲間関係とケアへの活用 備考 : 大久保
	11	授業内容 授業形態 : プレゼンテーション・ 討議 学修課題 : 発達を支える1 学修内容 : 学習の理論とケアへの応用 備考 : 大久保
	12	授業内容 授業形態 : プレゼンテーション・ 討議 学修課題 : 発達を支える2 学修内容 : 発達障害と支援 備考 : 大久保
	13	授業内容 授業形態 : プレゼンテーション・ 討議 学修課題 : 発達を支える3 学修内容 : 心と行動の問題および児童虐待とケア 備考 : 大久保
	14	授業内容 授業形態 : プレゼンテーション・ 討議 学修課題 : 学童期以降の発達 学修内容 : 学童期・青年期の認知発達とケアへの活用 備考 : 大久保
	15	授業内容 授業形態 : 討議 学修課題 :まとめ 学修内容 : 小児看護と発達支援 備考 : 大久保
事前・事後学習		【事前学修】 テキストを読み、概要をまとめる。かつ、疑問点や不明点、討議したいテーマをまとめる。 適宜、関連文献や資料を検索・収集する。 【事後学修】 講義や討論を踏まえて、自己の看護実践を振り返る。
評価方法、評価基準		到達目標1・2に対して、プレゼンテーション(50%)と討論への参加度(50%)で評価する。
テキスト		開一夫、斎藤慈子(編) (2018) : ベーシック発達心理学, 東京大学出版会
参考図書・資料等		各自が検索・収集する。
受講、課題、資料配布等のルール		欠席の場合は必ず担当教員に事前に連絡をする。 プレゼンテーションを行う学生は、授業前に人数分をコピーする。
教員からのメッセージ		小児看護を実践する上で子どもの発達の理解は重要です。子どもの発達についてより深く理解できるよう、主体的な参加を期待します。
オフィスアワー		事前にメール等で予約をしてください。